



神(みわ)神社は今年も早朝から初日、初詣の方々にぎわいました。



本年もよろしく
お願いいたします



第29号
2026年2月1日
発行責任者 編集委員長
森脇久紀

コラム「破旧立新」は2~3面に掲載します。

生活交通 3月試行 4月から本格運行へ

町内会長らで構成する「横井学区生活交通を考える会」のご尽力で新たな「生活交通」の運行準備がすすんでいます。

「生活交通」とは、鉄道や路線バスの利用が不便な地域にお住まいの方の暮らしを支えることを目的とした交通手段で、岡山市と地元(利用者と町内会)が8対2の割合で経費を負担して運行されます。

当町内会で利用の対象となるのは、桜ヶ丘、学園台、グリーンハイツの各自治会と猿場、白壁自治会の一部地域です。

利用するには事前登録と予約が必要です。予約の際には、名前、利用する日時、乗る場所・降りる場所、人数を伝えます。区域(東エリア)内であれば、自宅を含めどの場所でも乗り降りできます。区域外の場合は、決められた施設(スーパーや医

療施設)での乗りの降りとなり、施設から施設という利用はできません。

運賃は1人800円、2人以上で利用すると1人400円で、小林口バス停で乗り継ぐ場合は100円になる予定です。

今後、3月の試行運行を経て、4月から本格運行の予定です。対象の自治会で説明会を希望する方は、自治会長か町内委員にお知らせください。

横井西エリア		運賃		運行ルール		横井東エリア	
時刻表		1人で利用 800円	2人以上で利用 400円	【区域内】 どの場所でも乗降可能	【区域外】 指定した停留所でのみ乗降可能	時刻表	
火・金 ※12月29日~1月3日を除く		バス乗継 100円 ※小林口バス停に限る	運行エリア・停留所		月・水 ※12月29日~1月3日を除く		【行き】
【行き】	便 時刻					便 時刻	【行き】
1便	8:30					1便	8:30
2便	10:00					2便	10:00
3便	13:00					3便	13:00
4便	16:00					4便	16:00
【帰り】	便 時刻					便 時刻	【帰り】
1便	10:40					1便	10:40
2便	12:00					2便	12:00
3便	15:00					3便	15:00
4便	17:30					4便	17:30

親切への感謝

を葉書につづる
コンテスト・第
41回「小さな親
切」はがきキャ
ンペーン（「小さ
な親切」運動推進委
員会）に、本会報
コラム担当の甲
元孝朋さん（鳴下
自治会）が選ば
れました。

コンテストの
テーマは「あ
のときはありが
と」―5歳の時
に上海で終戦。翌年、父親
の郷里（現・美咲町）に引き
揚げた甲元さん。小学校担
任の先生と交わした「4つ

老師と「4つの約束」

これは、私の幼少期の頃の話です。昭和20年8月終戦、上海（中国）の外国人専用の租界に住んでいた私達家族は、翌年春に山里深い父親の郷里に引揚者として日本へ帰国した。これまでとは全く違う田舎生活と聞き慣れない方言と人達に馴染めず、更に戦禍の記憶も消えやらず所謂カルチャーショックに陥った。口数も少なく友達もできずすっかり引きこもり状態となり、夜間に夢遊病状態で畦道や野原で保護されることも少なくなかった。帰国後2年目4月には、村の小学校へ入学した。4年生でやっと自分の名前を平仮名で書けたが算数はできず、体は大きかったが気が弱い超落ちこぼれ放つたらかし児童でした。ところが、5年生の新学期を迎え、新しい担任先生との出会いが奇跡を起こした。小太りの禿げ頭で顎髭を生やした年寄り男先生です。新学期早々、①人と話をする時は相手の目を真っ直ぐ見る ②人と会ったら、おはよう、こんにちはと大きな声で挨拶する ③人に助けてもらったり、手伝ってもらったら、ありがとうとお礼を言う ④勉強は毎日諦めず少しでもする―4つの約束をして放課後、日直、宿直の暇をみて付き切りで特訓が始まった。6年生も持ち上がりで、声は優しいが厳しく2年間鍛えられた。私自身も自ずと自己に目覚め必死の努力をした。卒業する頃には勉強は誰にも負けない、読書と運動の大好きな少年になった。その後も4つの約束を貫き通したのは言うまでもない。社会人になり、「小さな親切」運動に深く関わったり、大学の先生になったのも老師の教えの賜です。老師と廃校になった村の小学校に、「ありがとう」の言葉を添えて、このはがきを捧ぐ。

の約束」と厳しくも温かい「特訓」。「先生との約束が生き方の根幹になっていった」と、感謝の気持ちを葉

書につづられました。

コンテストの応募数は2109編、入賞・入選は25名でした。



東京での表彰式（11月28日）にて

小さな親切運動とは

できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに、誰もが他者を思いやる、あたたかな社会をめざす運動です。小さな」とは、「いつでも・どこでも・誰にでもできる」との意味が込められています。

破田立新

近ごろ「目から鱗が

落ちた」二題

数年来、難病に捕まり十数種類の薬を飲み続け副作用と闘いながら、いくつもの診療科に通っている。ところが、三年程前に突然想定外の強烈なストレスに見舞われ病魔は激変し、遂には歩行困難を来たし、今では杖と車椅子の生活を余儀なくされている。副作用も多く抱え、日常生活に様々な事を欠くようになった。

▼この杖と車椅子の生活の中で、身体不自由ならではの貴重な体験を紹介したい。

【東京編】

▼昨年十一月終わり頃、かかりつけ医と専門医の許可と助言を得て、人生最後となる大旅行を決行した。妻と娘の励ましと介添は言うまでもない。全旅程を車椅子で新幹線に乗って上京し、まさに命がけの二泊三日であった。

▼事の起こりは、新幹線乗降の際のエレベーター、街中ビルのエレベーター、交差点の信号待ちでの出来

事である。例えば、車椅子で駅のエレベーターを利用した時、既に乗降口では列をなして並んでいる。行列には、背中両手にリュックサックとスーツケースをしっかりと持った海外旅行者と、手荷物あるいは手ぶらの日本人旅行者など様々な旅行スタイルの人達が並んでいる。私の車椅子がその行列の最後尾に着いた瞬間、それは何の前触れもなく突然起こった。海外旅行者と思われる人達全員がスウツと行列から横へ移動し、まるで櫛（くし）の歯が抜けたように空間が生じた。明らかに車椅子の私に順番を譲ったことだと思う。ところが、続いて起こった事は、それまで列に並んでいた日本人が、我先にとばかりに空間を詰めて乗降口へ向かって移動したのである。

▼若い頃、ヨーロッパに旅行した時、彼らの国では杖や車椅子の人に対する日常行動を見聞したことや、それを思い起こした。それは、親切を飛び越え、弱者に対する基本的な人間行動文化だった。海外旅行者として彼らが日本へ訪れても、長い歴史に培われた弱者に対する日常生活行動文化を遺憾なく見せてくれた。

▼乗降口へ詰め寄せた日本人と、

急募

アルバイト職員

利用者の迎え(朝8時から1時間程度) 時給1500円

障害者就労支援事業所「津高生活交流センター」

(問い合わせ) ☎ 294-8500

横井上町内会

町内会紹介	規定・規約	行事予定	防災マップ	活動報告	回覧物
広報紙	交通機関	町内施設	ゴミ・リサイクル	防災・安全	町内マップ



町内会ホームページ 表紙イメージ

新ホームページ作成すすむ

新しいホームページの作成をすすめています。

表紙上段のメニューから町内会に関する情報を選択し、見ることが出来ます。

メニューには、「町内会紹介」「規定・規約」「カレンダーでの」行事予定」「防災マップ」「活動報告」「回覧物」「広報紙(いいこのこ)」「交通機関」「町内施設」「ゴミ・リサイクル」「防災・安全」「町内マップ」を設けます。

その都度更新する「活動報告」は、各自治会、委員会や各種団体の活動をブログ形式で投稿できます。「回覧物」は回覧後でも確認したいと思われる情報を掲載します。投稿した内容は、投稿順、カテゴリ別で検索することもできます。

4月の公開めざして準備していますのでよろしくお願いします。

横へ移動して車椅子の私に順番を譲ってくれた海外旅行者との行動文化の違いは何だろうか。東京旅行から無事に帰ってきて、ずっと考え続けている毎日である。

【横井上編】

▼今度の舞台は、我がふるさと横井上町内での、ここ二年ばかりの出来事である。

▼私自身、歩行機能維持向上と、自動車運転の能力低下防止のため、極力外出に努めている。妻の買い物やゴミ捨への運転手として、地域センター、銀行、外食などへも積極的に出掛けている。これは、その時に起きた思いも寄らぬ数々の出来事である。

▼例えば、他に空きスペースがあっても身障者専用駐車場と分かっているにもかかわらず、明らかに健常者が堂々と占有し、また時には満車の状態で、勝ち誇ったようにお店の入口に近い車椅子専用場所に駐車する車の多いことか。公道や駐車場で当方の車椅子マークの車に邪魔だ、どける」と罵声を発して進路を塞ぎ強引な運転を仕掛けられたこともあった。

▼道やお店で、杖や車椅子と出会った途端に、せつかくの上機嫌を

台無しにされたたでもいうように、睨み付けてすれ違う人達が多いことか。そしてスーパの中で杖で歩行中、肩に掛けた買い物バックが杖に当たり転倒寸前の大惨事に遭遇したこともあった。2〜3件ならともかく、度重なる常態化し、高齢化社会がますます進展する現在、一般論としても、生活行動文化としても決して褒められた事ではあるまい。

▼我が身が杖や車椅子の人間になつて、初めて事の深刻さと生活上での制約、困難さに直面したことに気づき、深く反省もしている。もちろんこの様な状況を理解し援助してくれる人達も多くいて感謝しているのは言うまでもない。自分自身も決して甘えてはいけないことは十分自覚しているつもりだ。

▼住みよい街づくりを標榜する横井上町内会が、他の諸問題とあわせて、生活行動文化の向上に派生する諸問題を真剣に取り組んでこそ、多人数の住民を抱える横井上町内の未来であり、岡山市内で模範的なモデル町内となり得るのではなからうか。

大盛況

町内会 親睦 夏まつり

ご協賛・ご協力 ありがとうございました



恒例の横井上町内会親睦夏まつりは8月23日、横井公園でおこなわれました。おなじみのリン君によるパフォーマンス、

半田山子供会の銭太鼓、今年初のダンスパフォーマンスにやぐらの周囲は人垣ができていました。



夏まつりは、町内外多くの方々にご協賛いただいています。

感謝、御礼申し上げます。

アンケートへのご協力

ありがとうございました

夏まつり終了後お願いしたアンケートには約350人の方から回答をいただきました。今年のまつりについて、多くの方から「満足」「やや満足」との回答をいただきました。今後の開催に「反対」の方は少数でしたが、「賛成」と「どちらでも」は、若干「賛成」が多くありました。自由記載には、「子どもたちのために続けてほしい」とのご意見が複数ありました。ありがたいことに、100人近い方から実行委員など「協力できる」との回答がありました。

町内会委員会では、アンケートでいただいたご意見をふまえ、今後の「夏まつり」の在り方について検討させていただきます。

編集後記

「いいとこのこし」第29号をお届けします。

2026年、新しい年を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。

今年の元日も、神(みわ)神社で初日を拝むことができました。町内住民皆様のご健康、ご多幸をお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

